

全般	計画	土づくり	苗づくり	植付け	初期	中期	後期	収穫	調製	出荷
----	----	------	------	-----	----	----	----	----	----	----

農作業安全対策

規範項目21

必須・重要・推奨



安全な草刈りの実施

ほ場内の作業性の確保や地域の生産環境の保全のために、畦畔や農地の法面の草刈りは重要な作業です。このため、定期的に草刈りを行うことが必要ですが、作業者の安全性の確保や刈草の適正処理についても十分配慮することが必要です。

取組事項

- ・ 作業安全の確保のため、草刈りの前に現場の状況を把握する。
- ・ 防護具を着用し、安全な操作方法で草刈機を活用する。
- ・ 刈った草は用排水路に絶対に流さない。

草刈りの実施にあたっては、雑草地からの害虫の移動や地域住民へ迷惑にならないような刈草の適正処理に配慮するとともに、作業者の体力や経験度合、現場の状況などに合わせた、安全な操作方法で草刈機の活用に努めることが必要です。

【作業現場の安全確認】

草刈りの作業前には、石や空き缶など、草刈り作業や周囲の作業者に危害を与える恐れのあるものが作業現場に放置されていないことを点検するなど、現場の安全を確認しましょう。

草刈りの作業時には、裾・袖口が締まっている作業服や保護めがね、すね当てなど、適切な服装、保護具を着用しましょう。

2人以上で草刈りをする場合は、常にお互い適切な距離を保ちましょう。

法面や傾斜地は足場が不安定なため、最も多く事故が発生しています。滑らないようスパイクがついた靴を使用するとともに、足場を確保しながら、等高線方向に安定した姿勢を確保して作業を行いましょう。また、危険な所は手刈りすることも必要です。さらに、農閑期などに法面や傾斜地に階段を設けることも検討しましょう。

【防護具等の活用】

刈払機などを長時間使用すると、その振動で手指の血行障害や、騒音で難聴などを引き起こす可能性が指摘されています。長時間の作業や連続作業は避け、防振手袋や高音部のみ遮音する耳栓といった防護具を装着しましょう。

転倒時など緊急時に手を離すと、回転速度が下がり刃が止まる、動力遮断装置が搭載された機種を積極的に利用しましょう。

【刈草の適正な処理】

刈った草を川や用排水路に流すと水路等が詰まり、下流域の農業者等の水利用や生活に悪影響を与えるので絶対にやめましょう。また、河川や海岸の環境保全の視点からも十分に注意しましょう。

表 草刈機事故様態

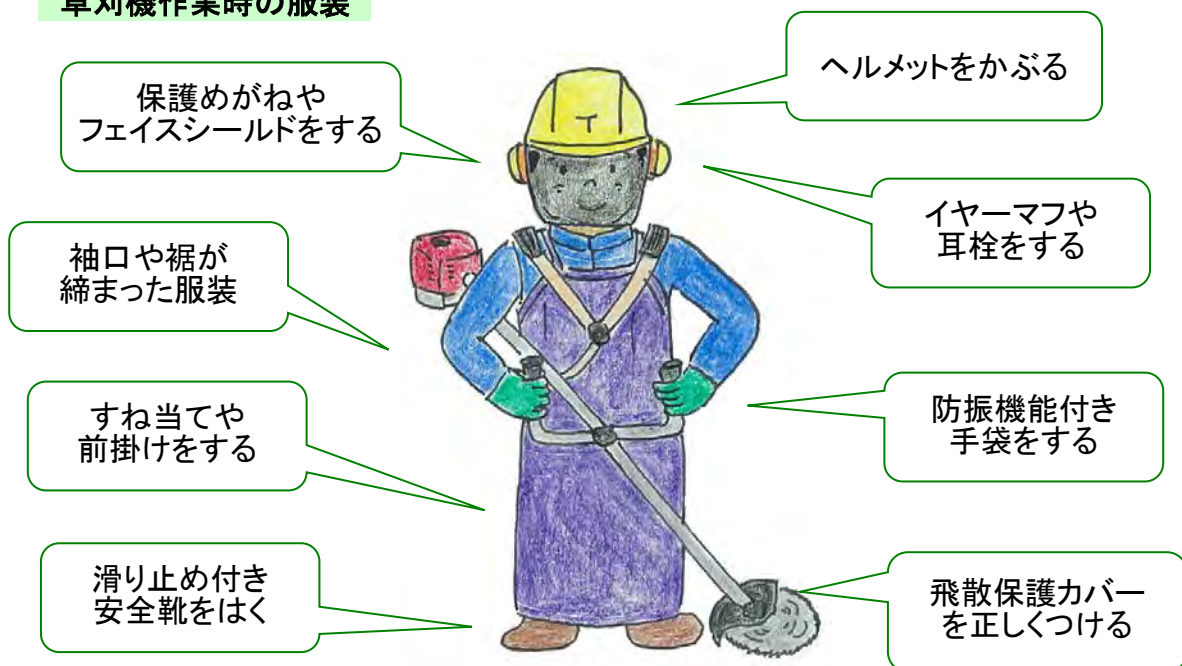
(H12～21、(財)日本農村医学研究会 富山県農村医学研究所による富山県内での調査結果資料)

原因	件数(件/10年)	%	事故対策例
不安定な姿勢	滑る	19	常に安定な姿勢を保つ スパイクのついた安全靴 危ないところは手刈り 悪天候での作業は避ける
	転倒	20	
	転落	24	
	ひねる	4	
周辺環境	飛散物	26	飛散防護カバーの装着 作業現場の異物の除去
	キックバック ¹⁾	7	
刃の回転による	27	17	防護の徹底
不正常使用 ²⁾	11	7	刈刃停止の確認
他人による	14	9	他人を近づけない
その他	9	6	
計	161	100	

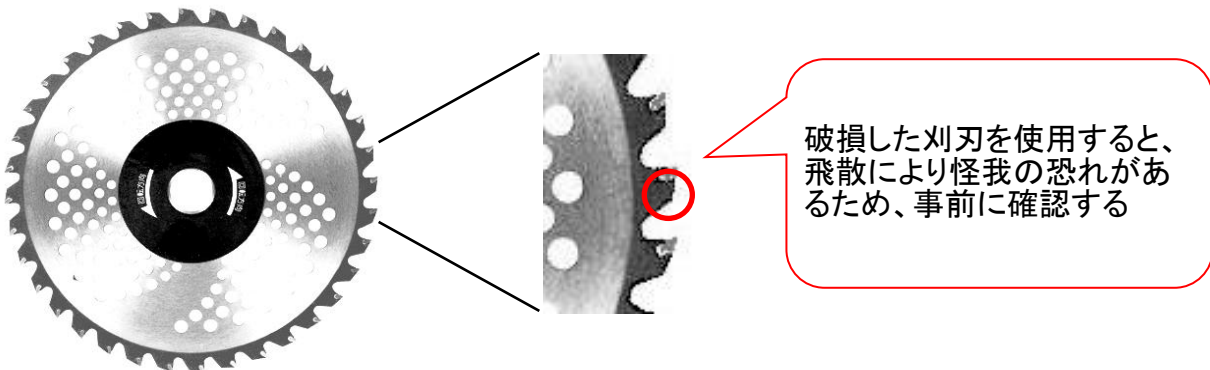
1) 刈刃の右側が地表面や障害物に当たると刈刃が作業側側に跳ね返る現象

2) エンジンを止めずに巻きつきや詰まりを除去、回転が続いている状態で下に置く等

草刈機作業時の服装



刈刃の整備



【根拠法令等】

- 農作業安全のための指針(平成13年度農林水産省公表)
- 個別農業機械別留意事項(平成13年度農林水産省公表)